

英語リーディングB Reading B

薬：K2-13121MY、生命：K2-13121MS

素養科目 1、2年／後期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A組1班：関野 佳苗、A組2班：瀬戸川 順子、A組3班：池山 和子
B組1班：松井 直樹、B組2班：岡部 了也、B組3班：長岡 真理子
C組1班：岡部 了也、C組2班：中野 里美、C組3班：松井 直樹

■教育目的（各クラス共通）

エッセイ、フィクション、時事問題、科学読み物、医療記事などの英文を読み、精読、速読、パラグラフリーディングなどを含む総合的な読解力をつけることを目的とする。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 様々な読み方の訓練を行い、状況に応じて使い分けられるようにする。
2. 科学読み物、フィクションや時事問題に関するもの等を題材とし、様々な領域の英文を読みこなせるようになることを目指す。

■授業内容

A組1班 関野 佳苗

本授業では各国の著名人のスピーチ原稿を教材として、語彙、文法、構文、表現に注意して丁寧に読み進めていきます。事前に言葉遣いや内容が練られている原稿を読むことで英文の読解力、理解力はもちろんのこと、語彙力および表現力の向上を目指します。

スピーチのテーマは多様性、教育、平等な社会、平和といった大学生として知っておくべき内容です。ひとつのスピーチを2～3回の授業で読み進めていきます。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：語彙、表現テスト等で理解度を確認し、授業中の質問に回答、解説を行うことでフィードバックを行います。

・授業に対する参加度等の平常点(20%)、期末試験(80%)で総合的に評価する。

教科書：教科書は使用せず、プリントを配布します。

A組2班 瀬戸川 順子

今後、より専門的な文献の読解を要求されることを想定して、基本的理解力の充実を図る。下記テキストにより、幅広く美術関連の文章を読み、実際に使用される英語の表現の多様性や文化的背景に親しむ。文法事項を確認しながら精読するが、慣れたら次第に速度を上げたい。自分で調べる手間を惜しまないで、英和辞書を用意しておくこと。また、随時プリントを使用して速読を試みる。

準備学習（予習・復習）：予習：各章のテーマに関して調べておく。／復習：論理の展開、新出単語やそれに関連した表現等を再確認する。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：練習問題・単語テスト等で理解度を確認し、フィードバックを実施、期末試験(90%)、小テスト(10%)で総合評価する。

教科書：『A View from Painters' Palettes: Food and Culture 絵画を彩る食文化』Josh Norman, Maho Matsui, Fujiko Motoyama (朝日出版社)

A組3班 池山 和子

医学・薬学系学生のための総合英語教材を用いて、読解を中心に、聴解力・英語表現力の向上、医学英語の習得を目指す。準備学習（予習・復習）：予習：本文を複数回読み、重要ポイントを押さえる。読解と合わせて習得すべき語句の整理をしておく。(40分以上)復習：モデル音読を聴きながら本文の内容を反芻する。意味を考えながら音読を繰り返して医学用語を含めた英語表現の習得を目指す。(20分以上)

授業形態：課題解決型学習、双方向型授業 (ICT 活用)、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：MY-CAST を介した小テスト・課題 (20%) へのフィードバックを行い、期末試験(80%)と合わせて総合的に評価する。

教科書：The Wonders of Medicine < Third Edition > 瀬谷幸男他著(南雲堂)

B組1班・C組3班 松井 直樹

この授業の目的は“英語リーディング”という授業形態を通して、英文読解力・理解力の向上のみならず、筋道を立てて考えを構築する力、批判的に物事を考察する力を養うことにあります。海外のメディアによって伝えられたトピックを編集して作られたテキストを使用し、1回の授業で300 words程度の“insightful”な英文を丁寧に読み進めながら、これらの能力を育成することになります。

授業は講義・演習形式で進めることとなります。教員がパワーポイントで作成した資料を提示してテキストの英文や内容

を解説します。学生は素早く、的確にノートをとる作業を行うこととなります。円滑な授業運営を行うために、毎回テキストの指定箇所に対して予習が課されます。

加えて、テキストの内容を超えた英語読解力や幅広い視野を養うために、事後学習では英字新聞・雑誌などを活用して学習することが求められます。

準備学習（予習・復習）：事前学習：テキストの当該箇所を予習（1時間以上）／事後学習：授業内容の確認；英字新聞・雑誌を読んでみる（1時間以上）

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（70%）、授業参加（30%）の合計で成績を評価します。

教科書：『What in the World（ちょっと世界を見てみよう！）』 Jim Knudsen（南雲堂）

B組2班・C組1班 岡部 了也

本授業では、様々な内容に関する英文新聞記事を読むことにより、英語で書かれた文章を正確に読み取る訓練を行う。テキストは、政治、環境、テクノロジー、スポーツといった幅広いテーマに関するニュース記事とそれに関連した練習問題から構成される。授業中は、文章の読解および練習問題を通して、様々な分野に関する語彙、イディオム等の表現および文法知識の拡充を図る。この授業では、テキストの後半の Chapter 8 から Chapter 14 までを取り上げる予定である。

準備学習（予習・復習）：予習：文章中の知らない単語や成句等の表現を調べ、ある程度文章の内容を理解しておく。また、練習問題に関しては、答えを考えておく。復習：授業中に確認した単語・表現や文法事項、練習問題の解答等を再度確認し、文章の内容に関し理解を深めておく。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験の成績（100%）で評価する

教科書：『English for Mass Communication – 2022 Edition –』 堀江洋文 他著（朝日出版社）

B組3班 長岡 真理子

この授業では、社会・文化・科学など様々なトピックの英文を通じて読解力の向上を図るとともに、幅広い分野へ関心を広げることも目的としています。また、語彙・文法の確認に加え、どの分野の文章を読む際にも必要となる、英語の文章の構造理解を深めることも目指します。効果的な学習効果を得るために必ず事前の準備をしてください。なおこの授業では、教科書後半の Chapter 7-12 を扱う予定です。

準備学習（予習・復習）：予習：教科書の当該箇所の予習。トピックによってはその背景知識を得る。（60分以上）／復習：授業中に学習した内容及び語彙の確認（30分以上）

授業形態：課題解決型学習、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（90%）、授業参加（10%）で総合評価する。

教科書：『Reading Dynamics-Skills for Academic Success』 Miwako Yamashina 他著（センゲージラーニング）

C組2班 中野 里美

国内外のニュース記事を読み、語彙、文法、構文、表現に注意して精読し、高度な内容の英文に慣れることを目的とします。なおかつ、大学生として知っておくべき世の中の情勢にも目を向け、情報を得て、興味の範囲を広げていくことを目標とします。進度として、テキストは前期で半分程度を予定していますが、もし予定箇所を早めに終われば、実践として英字新聞の記事を配布します。

準備学習（予習・復習）：予習：事前に注を参考に読み進めておき、分からない箇所がないか調べておきましょう。分からない箇所は授業で疑問解消していきましょう。（1章ごとに約30分前後）

復習：資格試験などを今後、受験する際には問題として使用される語彙や内容も出てきます。それを意識して自分が活用することを想定して内容を見直したり、さらに調べたり、覚えたりしていきましょう。（1章ごとに約30分前後）

授業形態：課題解決型学習、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題（レポート、試験等）のフィードバックについて：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。

成績評価方法：小テスト（10%）期末試験の成績（90%）で評価します。

教科書：『15章版：ニュースメディアの英語 2022 Edition』 高橋 優身 他著（朝日出版社）